コロナ禍で沸き上がった フェイクニュースの問題を探求する

大阪暁光高等学校
北辻　研人

大阪暁光高等学校
OSAKAGYOKO HIGH SCHOOL

これまでに

- **SNSとの向き合い方（2017年）**
  意見をSNSで発信することに向き合う

自分の考えや意見を発信するツールとして
意識して使う授業を展開

⇒SNSを自分の考えを深め意見を発信し
うまくつかえるツールとして認識しなおす

- **SNSトラブルを成功に変える取り組み（2020年）**
  トラブルが顕在化する特徴を踏まえる

１年間を通して指導。SNSトラブルは顕在化するかしなかで常に起こっている。

⇒常に指導の必要性がある。

トラブルが顕在化する生徒の特長

⇒認知力の低さ　認知力を上げる（コグトレ）

本校について

看護科

普通科

大阪暁光高等学
OSAKAGYOKO HIGH SCH

はじめに　臨時休校　分散登校

- 2年教育探究コース（男子 8名　女子 18名）

- 3月～5月中旬まで　臨時休校
- 5月中旬～末　分散登校　（１日おき½の人数）
- 教育人間探究の時間（４単位）

　文化が途絶える

　社会的スティグマ

　　⇒生徒の興味関心がいまいち

コロナと私　生徒の思いを引き出す

- 思いを吐き出させる
  - コロナ休校中にどんな情報に触れたのか
  - どんな感情を抱いたのか
  - 自宅にいることで何が起き、どんな思いをしたのか

⇒作文で自由に書き出させる

- 本校教育顧問の先生よりご講演
  - 連想ゲーム
  - 世界の状況

⇒気付きを増やし、学ぶ意欲を引き出す

生徒から湧き出た学びたい意欲

アルバイト

時給　殺菌の仕事　お金のもらい方（衛生面）　３密

命・世界

互いの存在　助け合い　グローバル

SNS・インターネット

デマ　正しい情報　トイレットペーパー買占め
フェイクニュース　混乱

コロナ禍の後の生活

コロナ禍の後の世界　政治　中国に頼りすぎ
これを教訓に　コロナからどう繋がるのか
コロナとコンピュータ

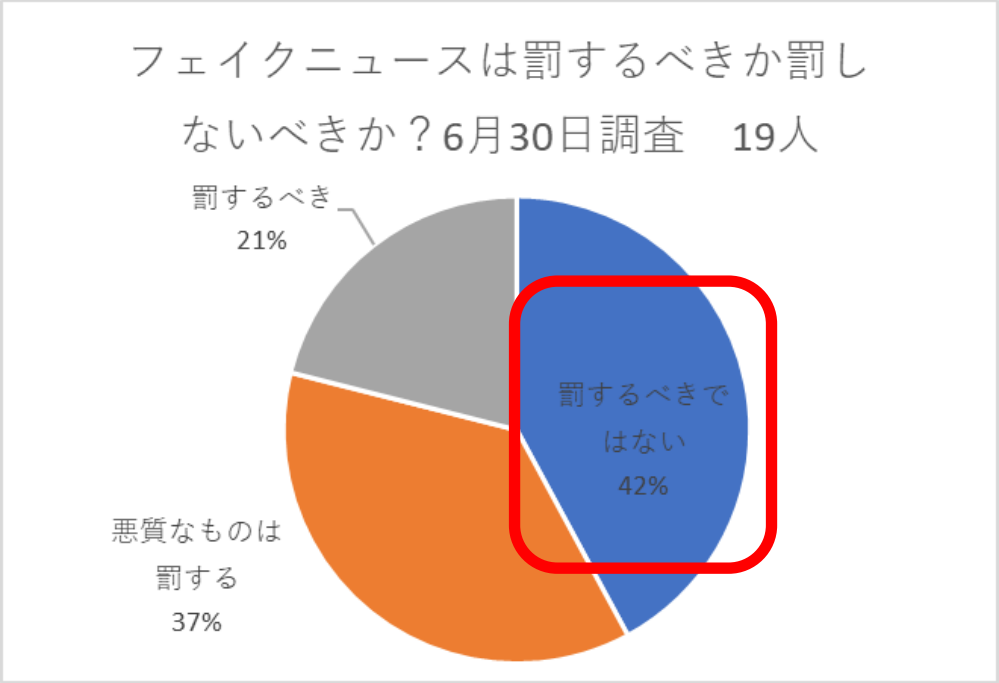
医療・介護職

医療崩壊　3密の職業

フェイクニュースを見抜くには

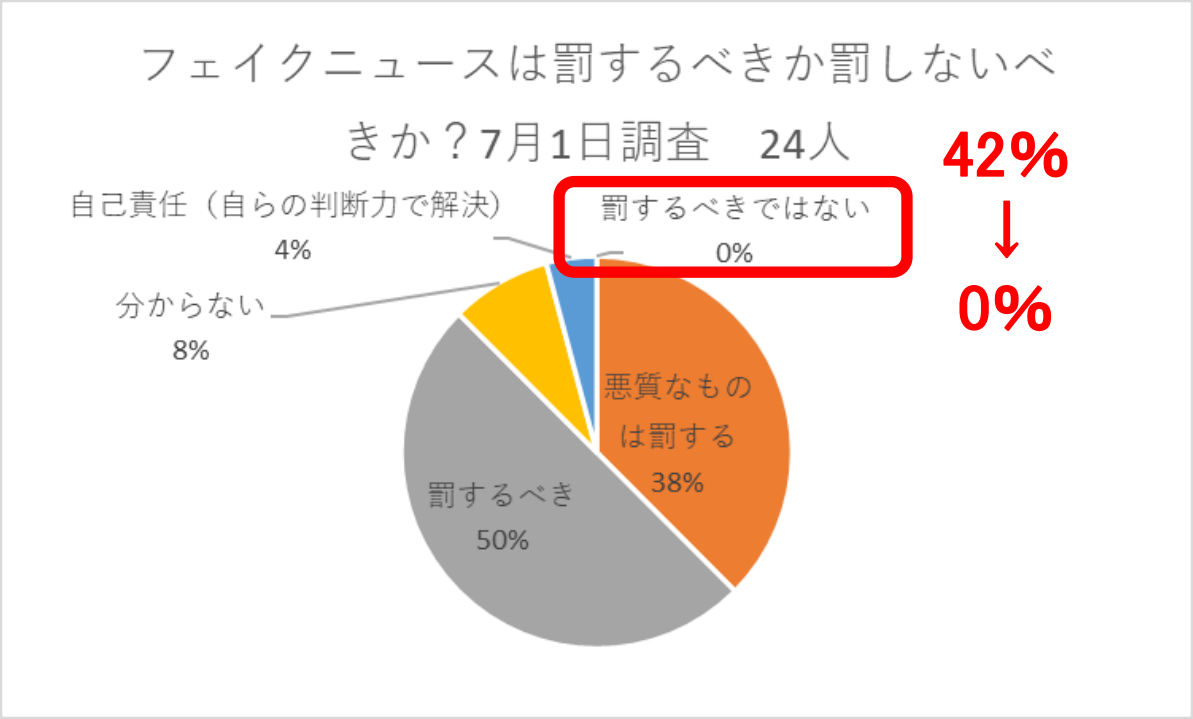
- NHK for School メディアタイムズ
  「フェイクニュースを見抜くには」視聴

- フェイクニュース　罰するべきかどうか？



フェイクニュースと死

- さらに、フェイクニュースにまつわる事件を取り上げた
　メキシコで起きた事件。フェイクニュースが原因で、誘拐犯だというウソの噂が流れ、興奮した群衆が親子に火をつけ焼き殺してしまった。
- その後、先ほどのフェイクニュース罰するべきかどうかのアンケートを取ると



グループで討論

- テーマ「フェイクニュース罰するべき？」
- １グループ４～7人程度
- 自由にグループを設定

- 進め方

　　１．自分の意見を整理（ワークシート使用）
　　２．各自自分の（複数）意見を付箋に書く
　　３．付箋を賛成　反対　などのカテゴリに分ける
　　（付箋の意見について述べながら討論していく）

※事前にルーブリックの評価表を配布しておく
評価基準を示すことで、前向きに取り組ませたい

グループワーク　自己評価　　2年3組（　　）番　名前（　　）

	A		B		C	
問題の把握・理解		問題の原因や背景までよく理解し、様々な角度から考え望むことができた。		問題の内容は理解しているが、原因・背景や様々な角度からとらえる所まで行っていない。		問題の意味や内容が理解できていない。
取り組み（姿勢）		やることを理解し、最後まできちんと取り組むことができた。		やることは理解していたが、最後まできちんとやり遂げられなかった。		発言など一切せず、聞いているだけ、もしくは、取り組みに参加できなかった。
取り組み（アイディア）		問題の解決に向けて、自分のアイディアや他人との意見の交換で新たな提案などができた。		自分の意見は、伝えられたが新たなアイディアや他人の意見を受けて新な発言までいかなかった。		解決に向けて自分のアイディアすら出すことができなかった。
取り組み（話の展開・まとめ）		自ら問題提起したり、他者の話を聞き、新たな話題をつくりまとめるなど、話し合いが進むように取り組めた。		自分の意見は伝えられたが、話の展開を作ることはできなかった。		話に参加できず、展開を聞いているだけだった。
プレゼン		プレゼンをした。もしくは、発表する人にむけ、プレゼンしやすいように改善点などを話し合えた。		プレゼンはしていないが、プレゼンしやすいように意見をいうことはできた。		プレゼンはしておらず、プレゼンのサポートをすることすらできなかった。

グループワークをしてみて、考えが深まったり広がったりしましたか？感想を書いてください。

罰する

- 人がモヤるような内容
- 人に迷惑がかかるもの（損くらいなら罰しない）
- 被害者の心に傷が残るフェイク
- フェイクをわかっていて内容を拡散する人
- 気づかず（無意識）広めている人も（わからせるため）
- 誹謗中傷に繋がるもの

罰しない♡

- 面白くて人に絶対迷惑が掛からないもの
- みんなが楽しくなるようなおふざけは罰しない
- 誰かの（幸せを願う）ためのフェイクは罰しない
- みんながこれは絶対にフェイクだとわかる＋つ（合成の巨人とかの写真など）
- 人が悲しまない内容
- 人が死なない内容

結論
基準が難しいよね？

罰する

- 事件、犯罪性があるもの
- 悪質なものだけ罰するべき
- 線ひきが難しいならすぐに罰するべき。
- フェイクニュースによって今の悪ふざけが広がっている。

罰さない

- 娯楽のためのウソ
- 誰でも分かるものと楽しいものだけ
- 人が楽しめるものは罰さなくてもいい。（例外）

対立
（軽い冷戦が起こりました）

わからん

- 線ひきがおかしいため分からない

★ 元の治安
★ 罰のていど
★ フェイクのていど

議論に熱中する生徒たち

- 自然と白熱した議論が交わされた。
- コロナ禍の休校を取り戻すかのように激論に

- 自分の問題意識　SNSとの密接な関わり

- 同じ賛成派、反対派の中でも微妙な意見の違い
- ⇒１つの意見に対してきちんと理由が明確に付け加えられていた

各グループ発表

- 賛成か反対か意見をまとめ、代表が発表
  「賛成」　「反対」　「どちでもない」という
  グループがそれぞれできた。
- 感想から

「またやりたい」　特に激論になり討論が盛り上がったグループほどこの意見が多かった。

⇒コロナ禍で沸き上がってきた思いを討論という形で吐き出させ、学びの形につなげることができた。

- 効果として
  - ・学びの深まり　・他者の意見を聞く力
  - ・自分の意見を発信する　・まとめる力

おわりに　生徒が得る充実感

- この討論を通して、一番の収穫は
  「またやりたい」と思えた生徒が多かったこと
  これは充実感や達成感などを得ることができた
  特に伸ばせた力《他者の意見を聞く力》
  ☆事前の準備　自分の意見の振り返り　他者からの気づき

- その後の活動
  3学期　防災について色んな状況でどう判断するのか様々なケースについて議論
  ⇒非常に意欲的に活発に討論を行うことができた。

- この討論を機に、プレゼンや討論を前向きに捉え、活発な意見交流ができるようになった。

NHK FOR SCHOOL すくレポ①

https://www.nhk.or.jp/school/aw/sukurepo/202008060382/

NHK FOR SCHOOL すくレポ②

NHK for School を軸に大震災を学ぶ

2021.06.05　総合学習

投稿者

大阪府　大阪暁光高等学校　北辻研人さん

対象

小5、小6、中学・高校

なるほど度！

このすくレポを評価する

活動のPR

探究的な学びを展開するテーマとして、「大震災から学ぶ」として取り組みました。
学びを進める軸として、資料や映像の豊富さを鑑みてNHK for School の教材で進めてみました。動画教材を活用し、多くの自然災害から大震災を取り出し、地震のメカニズムや震災の様子を知り、被災者の行動からその思いを受け止め、防災への取り組みまで、全てNHK for Schoolの教材を軸にすることで、充実した内容で学びを進めることができました。
それらに組み合せ、実際の被災者の体験談を聞き、防災センターへの見学・震度７の体験、防災カードゲ

https://www.nhk.or.jp/school/aw/sukurepo/202106050441/

ご清聴ありがとうございました。

大阪暁光高等学校

北辻　研人（きたつじ　きよと）

kitatsuji@osakagyoko.ed.jp